

# 芦屋町 / 地域おこし協力隊

## 地域おこし協力隊とは？

人口減少や高齢化などが進む地方で、地域外の人を受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その地域への定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

こんにちは、地域おこし協力隊の料所です。

今回は芦屋海浜公園に6月4日にオープンしたチャレンジショップ「PENELOPE takeout & cafe (ペネロプ テイクアウトアンドカフェ)」を紹介します。

りょうしょ ひろえ  
料所 宏会

遠賀町出身。高校卒業後、秋田県とノルウェーに住んでいました。雪で滑らない生活が送られてうれしいです。編み物が好きです。

## ■ PENELOPE takeout & cafe ってどんな店？



PENELOPE takeout & cafe は芦屋町出身の今田美穂さんがスタートさせたショップです。

今田さんは、毎年北海道まで行くほどバイクに乗ることが好きだそうです。



北海道を旅行中、ナチュラルで良い雰囲気に包まれたベーグル屋との出会いがありました。そのすてきな店が忘れられず、今回のベーグルカフェオープンイメージづくりへとつながっていきました。

店では「軽く食べられるけど、お腹を満たせるもの」を提供していきたいそうです。今田さんのおススメは北海道産と熊本産の小麦粉をブレンドして作った、もちもちでむっちりした食感のベーグルです。中でも、チョコ＆クリチオレンジピールベーグルがイチオシだそうです。

(※クリチ＝クリームチーズのこと)



## ■ 魅力的なメニューの展開は？

季節によってメニューが変わるそうです。

- ◎ サンドバーグル
- ◎ フルーツバーグル
- ◎ ご当地バーグルなどを開発していく予定です。

まだまだ残暑が厳しいと思うので、少しでも涼しく過ごせるように、しばらくは冷たいドリンクを提供するそうです。

軽食以外では、昔から知人などに振舞っていたオムライスが人気で、ファンがたくさんいたそうなので、PENELOPE の看板メニューの一つになりそうですね。



## ■ 映えるフォト満載のSNS！

PENELOPE オープン前の今田さんは、フォトスタジオで約20年間働いていたそうです。映える写真撮影はお手のもの！と言わんばかりに、今田さんが掲載しているPENELOPEのInstagram・Facebookはおいしそうなベーグルなどの写真が食欲をそそります。皆さんもショップやSNSをのぞいてみてくださいね。



Instagram Facebook

PENELOPEは8月29日(木)から夏休みをとるそうです。詳しくはSNSを見てください。

■ 日々の地域おこし協力隊の活動はInstagramで発信していますので、フォローして活動を応援してもらえると嬉しいです！



## チャレンジショップとは

芦屋町の創業支援事業の一つで、町が約6坪の店舗を、創業希望者に安価で貸し出すことで、実際に営業するには費用や経験が足りないといった人に、「創業のチャレンジ」の機会を持ってもらうものです。

# 芦屋歴史紀行 その三百二十八

## 維新前夜と山鹿流③

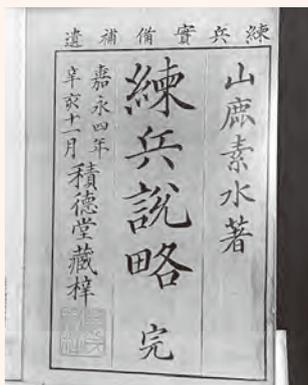
山鹿素水「烈士暮年壯心不已」

山鹿素行の死後、大きく二つに分かれる山鹿流宗家。一つは平戸松浦藩。今一つは弘前津軽藩。この津軽山鹿流宗家に生まれた素水は元服を迎え、文化5（1808）年、津軽藩主・津軽寧親に拝謁し、家督を相続。才気がありすぎた故か、壮年にして家督を譲り、隠居後、文政11（1828）年以降の生涯を諸国遍歴の旅に費やしている。江戸・京都では定住し、私塾を開いていたこともあった。

晩年、名を変えて京都に在住したおり、京都守護在番中にあつた綾部藩主の九鬼隆都に知られ、教えを授けるようになり、「田原藤兵衛」と名乗る。この変名は、素行が山鹿流の始祖とした坂東の英雄「俵藤太秀郷」から来たものとされる。この縁をきっかけに隆都は山鹿流に傾倒、綾部藩全体が山鹿流を受け入れ、大番与力（江戸時代の職名）の安藤直章は、山鹿流兵学の大家であつた幕臣の窪田清音からも学ん

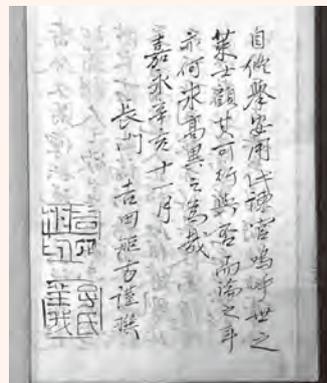
でいる。

天保8（1837）年には、大垣藩の小原鉄心に伝授、天保14（1843）年に綾部藩に招かれ、弘化2（1845）年、剃髪し素水と名乗り、素行の『武教全書』を復刊。嘉永4（1851）年には、江戸で私塾を開き、これが評判となり、長州藩の吉田松陰、肥後藩の宮部鼎蔵らが入門する。弟子である松陰・鼎蔵と『練兵説略』を刊行。ほかの著書も、先祖素行の山鹿流を海防問題に有効活用させようという試みから、理論よりも実地教練を強調した書が多い。



△練兵説略

度重なる異国船の来訪という問題に対応するため、幕府は新しい知識と武力が必要となつた。老中阿部正弘の発案により安政2（1855）年に幕府が蕃書調所（洋学の教



△練兵説略あとがき 吉田松陰

授所）と講武所（訓練施設）を開設。講武所の責任者として九鬼隆都が総裁、窪田清音が頭取兼兵学師範役に就任することで、山鹿流は幕府兵学の主軸となつた。幕府の御用学として山鹿流が採用されたのは、素水、九鬼、窪田の関係によるものとされる。

念願であつた山鹿流兵法の再興がなされた安政4（1857）年、隆都の領国である丹波綾部城下に素水病没。生涯をかけて山鹿流の復興を目指した素水の人生は報われたと言つてよい。素水は今、京都府綾部市神宮寺町上藤山の西福院に眠る。

老驥伏櫪志在千里

烈士暮年壯心不已

（芦屋歴史の里）

## 編集後記

▼7月に約1年の育児休暇から復帰しました。復帰2日後には猛暑の野外で朝から晩まで取材・撮影が3件。山笠で山車をひく皆さんの声に励まされながらなんとか乗りきりました。来月からは広報の相方が育休に入るのでさらに気を引き締め、八朔の節句で祝福される赤ちゃんたちに会えるのを楽しみにがんばります。（野中）

▼8月中旬から2カ月間、育休に入ります。子育ては分からないことばかりですが、妻と一緒に元気な娘に育てていきます。育休明けの10月はイベントも多いので、取材などで皆さんに会う機会も多いと思います。ちょっと成長した父親としての姿をお見せできればと思います。（手塚）

▼7月のあしや花火大会当日の午後、急に土砂降りの雨が降ってきて、花火大会が中止になるんじゃないかとヒヤヒヤしました。しかし、町民皆さんの日頃の良きお心が天に通じたのか、みごとに天気回復！おかげさまで芦屋のナツヨゾラに大輪の花火が咲きました（ありがたや）。表紙は江川台から撮影した花火です。まちのわだ（9ページ）の花火はマリントラスあしやからです（たまや）。川の近くで見ると光と音の迫力があります。ちよつと離れたところから見ると花火の光が町全体を照らしてくれてとても美しいですね。さて、9月が始まります。今年も残り4カ月ですね（はや）。（楸守）

